

・5分前着席を心がけましょう

司式 熊田雄二牧師  
奏楽 浅池慶子姉妹

前 奏

開 会 招 詞

\* 賛 美 歌 1:1 われら主をたたえまし

われら主をたたえまし きよき御名あがめばや 来る日ごとほめうたわん  
神にまし王にます 主のみいつたぐいなし アーメン

\* 開 会 祈 禱

罪 の 告 白 祈禱書2 (詩編51編)

神よ、わたしを憐れんでください。御慈しみをもって。深い御憐れみをもって、背きの罪をぬぐい去ってください。わたしの咎をことごとく洗い、罪から清めてください。わたしは咎のうちに産み落とされ、母がわたしを身ごもったときも、わたしは罪のうちにあったのです。

わたしを洗ってください。雪よりも白くなるように。神よ、わたしの内に清い心を創造し、新しく確かな霊をさずけてください。救いの喜びを再びわたしに味わわせ、自由の霊によって支えてください。主よ、わたしの唇を開いてください。この口は、あなたの賛美を歌います。主イエス・キリストの御名によって。アーメン。

罪の赦しの宣言

十 戒 祈禱書4

1. あなたは、わたしのほかに、何者をも神としてはならない。
2. あなたは自分のために刻んだ像を造ってはならない。それにひれ伏してはならない。それに仕えてはならない。
3. あなたは、あなたの神、主の名を、みだりに唱えてはならない。主は、み名をみだりに唱える者を、罰しないではおかない。
4. 安息日をおぼえて、これを聖とせよ。
5. あなたの父と母を敬え。
6. あなたは殺してはならない。
7. あなたは姦淫してはならない。
8. あなたは盗んではならない。
9. あなたは隣人について偽証してはならない。
10. あなたは隣人の家をむさぼってはならない。隣人の妻、またすべて隣人のものをむさぼってはならない。

(出エジプト20、申命記5)

\* 賛 美 歌 74:1 主の道歩まん

わが主に赦され心安らぎ 新しき力心に満ちて  
主の道歩まん 主の道 アーメン

共同の祈禱 祈禱書23 救済史祈禱④ モーセ契約

主なる神さま、あなたは、闇から光が輝き出るように命じ、海と陸とを分けさせられた、大いなる神です。万物の主であるあなたは、ただ一人「ある」と言われる方であり、「信じる者の神となる」と宣言されたお方です。あなたは、信仰の父祖たちとの契約を覚えて約束の民を顧み、モーセを用いて彼らをエジプトの奴隷状態から救い出し、シナイ山で契約を結び、律法と制度と儀式とを授けられました。この贖いと契約が、イエス・キリストによって、わたしたちが罪の奴隷状態から救い出される出来事として実を結んだことを、心から感謝します。(出エジプト3～、ヘブライ3、「聖書」一)

献 金 (黒)教会活動 (赤)新潟伝道所を覚えて 70

今ささぐるそなえものを 主よ きよめて うけたまえ アーメン

《 子供プログラム 森永美保姉妹・根岸めぐみ姉妹担当 57 主われを愛す 主は強ければ われ弱くとも 恐れはあらず わが主イエス わが主イエス わが主イエス われを愛す アーメン 》

聖書朗読 ルカによる福音書1章5-25節(新約聖書99頁)

説教・祈禱 「救い主登場の準備」 熊田雄二牧師

\* 賛美歌 59:1 わが行く道いついかに  
わが行く道いついかになるべきかは つゆ知らねど 主は御心なしたまわん  
備えたもう主の道を ふみてゆかん ひとすじに アーメン

\* 主の祈り 祈禱書1

天にまします我らの父よ  
願わくは御名をあがめさせたまえ  
御国を来たらせたまえ 御心の天になるごとく 地にもなさせたまえ  
我らの日用の糧を 今日も与えたまえ  
我らに罪を犯す者を我らが許すごとく 我らの罪をも許したまえ  
我らを試みに会わせず 悪より救い出したまえ  
国と力と栄えとは 限りなく汝のものなればなり アーメン。

\* 頌 栄 68あまつ御民も地にある者も  
あまつ御民も地にある者も父・子・御霊の神をたたえよ  
神をたたえよ アーメン

\* 祝 禱  
後 奏 (黙禱)

報 告

門脇献一長老

## I 祭司ザカリアと妻エリサベト

老人夫婦に子供が授かる話は、創世記のアブラハムとサラを思い出します。アブラハムとサラは、「そんなことあるかな」と笑ってしまいました。そこで、神は「笑ったな。全能者に不可能はない」と言われました。アブラハムとサラは恐ろしくなりました。しかし、本当に生まれたので、その含み笑いは喜びと感謝の笑顔となって、生まれた子供は「笑い=イサク」と名付けられました。

アブラハムから2000年後、ザカリアとエリサベトに子供が生まれました。ザカリアは、笑いはしませんでした。「私は老人ですし、妻も年をとっています」と言って、不可能だと思いました。天使は神の言葉を伝える者として来ているので、「あなたは口が利けなくなり、この事の起こる日まで話すことができなくなる。時が来れば実現する私の言葉を信じなかったからである」と警告しました。

その6ヵ月後の乙女マリアも、「どうして、そのようなことがありえましょうか」と不思議がりましたが、罰は与えられませんでした。ザカリアは祭司ですから、罰が与えられました。ザカリアは「主の掟と定めをすべて守り、非のうちどころがなかった」のに、神の言葉を聞きながら、「何によって、私はそれを知ることができるのでしょうか」と求めました。神の言葉によって知る以上の手段はないのです。

さて、エリサベトは嬉しくて、「主は、今こそ、こうして、私に目を留め、人々の間から私の恥を取り去ってくださいました」と喜びました。結婚したのに子供が生まれないと恥になるのは、今よりずっと重いことでした。今では、不妊の原因は夫にもあることを検査すれば分かりますが、そんなものはないので、一方的に妻の問題とされます。それにしても、子供を宿して産み出すのには爆発的なエネルギーを必要とするので、エリサベトは大丈夫だろうか心配です。心配するのも不信仰でしょうか。だから、超高齢出産であればあるほど、それ自体、神の奇跡です。でも、エリサベトにはサラという大先輩がいました。

## II 天使のお告げ ①洗礼者ヨハネの使命

さて、きょうの聖書箇所でもっと大事なことは天使からのお告げです。まず、ザカリアの願いがかなうという、神からの喜ばしいお告げがありました。しかし、もうあきらめていたでしょうから、願っていなかったでしょう。それで、「私も妻も年を取っています」と、あまり期待しない返事をしました。しかし、神は、ザカリア夫婦が若い頃、切に祈っていたことをご存知ですので、「あなたの願いは聞き入れられた」と言われたのです。さらに、「その子はあなたにとって喜びとなり、楽しみとなる」と祝福してくださいました。神は願い以上のことをしてくださるのです。それは、私たち人間には想定外の奇跡です。神のわざです。

天使からのお告げでもっと大事なことは、その子は何をするのか、何のために生まれる

のかという事です。それは16.17節です。「イスラエルの多くの子らをその神である主のもとに立ち帰らせる。彼はエリヤの霊と力で主に先立って行き、父の心を子に向けさせ、逆らう者に正しい人の分別をもたせて、準備のできた民を主のために用意する。」

洗礼者ヨハネは、救い主登場の準備をするのですから、最後の預言者でした。旧約時代はヨハネまでです。預言者たちの仕事は、「イスラエルの多くの子らをその神である主のもとに立ち帰らせる」ことでした。なかなか立ち帰らないので、預言者たちは皆、苦勞しました。また殺されました。ヨハネもヘロデ王によって首を切られてしまいます。

それでも、「準備のできた民を主のために用意する」ことができました。主イエスが、エルサレム神殿で説教しておられた時、ユダヤ教の指導者たちが「何の権威でそんなことをするのか」と詰め寄りました。その時、主は、「私の質問に答えたら返事をしよう」と言われ、「ヨハネの洗礼は天からのものだったか、それとも、人からのものだったか」とお尋ねになりました。

彼らは答えに窮してしまいました。「天から」と答えると、「ではなぜヨハネを信じなかったか」と言われます。すなわち、天からの神の言葉に聴き従わなかったと言われてしまいます。「人から」と言うと「民衆はこぞって我々を石で殺すだろう。ヨハネを預言者と信じ込んでいるのだから」と恐れました。つまり、ヨハネは「準備のできた民を主イエスのために用意」したのです（ルカ20章）。

### Ⅲ 天使のお告げ ②洗礼者ヨハネの霊力＝エリヤの霊と力

さて、ちょっと難解なのが、17節です。「彼はエリヤの霊と力で主に先立って行き」という「エリヤの霊と力」です。救い主登場に先立って、まずエリヤが来るということは、講解説教の最初に説明しました。ちょっと振り返ってみますと、マラキ書最後の3章23-24節に「見よ、私は大いなる恐るべき主の日が来る前に、預言者エリヤをあなたたちに遣わす。彼は父の心を子に、子の心を父に向けさせる。私が来て、破滅をもってこの地を撃つことがないように」とあります。「彼は父の心を子に、子の心を父に向けさせる」の部分は、天使がザカリアに告げた言葉の中に入っています。ここで旧約聖書が終わり、ページをめくれば新約聖書のマタイ福音書となります。

そこで人々はメシア到来の前に、預言者エリヤが来ると思っていました。エリヤは生きたまま天に上げられたので、人々は特別な預言者だと思っていました。弟子たちも、まずエリヤが来るはずだと思っていたので、主イエスに質問したことがあります。すると主は、「エリヤはもう来た」と言われました。そこで、弟子たちは、再び来るエリヤとは洗礼者ヨハネのことだと悟りました（マタイ17：13）。

さて、洗礼者ヨハネは「エリヤの霊と力」で働くと、天使はザカリアに告げました。「エリヤの霊と力」とは何でしょうか。祭司ザカリアはすぐ分かったでしょう。私たち異邦人は、エリヤ物語を読んで、天から火を降らせてバアルの預言者たちに勝った、あのあたりかなと思うくらいですね。しかし、「エリヤの霊と力」に関して興味深いシーンがありま

す。エリヤが生きたまま天に移される時、あとを継ぐ弟子のエリシャが、エリヤに厚かましいお願いをした場面です。旧約聖書列王記下2章1-12節（577ページ）。非常に興味深い話なので読んでみましょう。

主が嵐を起こしてエリヤを天に上げられたときのことである。

エリヤはエリシャを連れてギルガルを出た。エリヤはエリシャに、「主は私をベテルにまでお遣わしになるが、あなたはここにとどまっていなさい」と言った。しかしエリシャは、「主はいきておられ、あなた御自身も生きておられます。私はあなたを離れません」と答えたので、二人はベテルに下って行った。ベテルの預言者の仲間たちがエリシャのもとに出て来て、「主が今日、あなたの主人をあなたから取り去ろうとなさっているのを知っていますか」と問うと、エリシャは、「私も知っています。黙っていてください」と答えた。

エリヤは、「エリシャよ、主は私をエリコにお遣わしになるが、あなたはここにとどまっていなさい」と言った。しかしエリシャは、「主はいきておられ、あなた御自身も生きておられます。私はあなたを離れません」と答えたので、二人はエリコに来た。エリコの預言者の仲間たちがエリシャに近づいて、「主が今日、あなたの主人をあなたから取り去ろうとなさっているのを知っていますか」と問うと、エリシャは、「私も知っています。黙っていてください」と答えた。

エリヤはエリシャに、「主は私をヨルダンへお遣わしになるが、あなたはここにとどまっていなさい」と言った。しかしエリシャは、「主はいきておられ、あなた御自身も生きておられます。私はあなたを離れません」と答えたので、彼らは二人で出かけて行った。預言者の仲間五十人もついて行った。彼らは、ヨルダンのほとりに立ち止まったエリヤとエリシャを前にして、遠く離れて立ち止まった。エリヤが外套を脱いで丸め、それで水を打つと、水が左右に分かれたので、彼ら二人は乾いた土の上を渡って行った。

渡り終わると、エリヤはエリシャに言った。「私があるあなたのもとから取り去られる前に、あなたのために何をしようか。何なりと願いなさい。」エリシャは、「あなたの霊の二つの分を私に受け継がせてください」と言った。エリヤは言った。「あなたはむずかしい願いをする。私があるあなたのもとから取り去られるのをあなたが見れば、願いはかなえられる。もし見なければ、願いはかなえられない。」

彼らが話しながら歩き続けていると、見よ、火の戦車が火の馬に引かれて現れ、二人の間を分けた。エリヤは嵐の中を天に上って行った。エリシャはこれを見て、「わが父よ、わが父よ、イスラエルの戦車よ、その騎兵よ」と叫んだが、もうエリヤは見えなかった。

エリシャがエリヤの後継者になることは決まっていた（列王記上19章19～21節）。その時が来たのですが、なぜかエリヤはエリシャを突き放すような言い方をします。それに対してエリシャは、「絶対離れません」と言って付いて行きます。

また、なぜか他の預言者たちもエリヤの召天のことを知っていて、「きょう主があなた

の先生を取り去られる」とエリシャに言いました。エリシャは「黙っててください」と答えます。エリヤに付いて行くことに集中しているようです。エリヤもエリシャをテストしているようです。

そしてついにエリヤは言いました。「わたしがあなたのもとから取り去られる前に、あなたのために何をしようか。」 エリシャはお願いしました。「あなたの霊の二つの分をわたしに受け継がせてください。」 厚かましいようですが、エリシャは必死でした。先生のエリヤが何度も命を狙われながら、預言者の仕事をしたのを見てきたのです。先生がいなくなったら、どうなるだろうか。自分一人で、主に逆らう王様と軍隊に向かって、預言者の働きができるだろうか。

エリヤはエリシャに言いました。「わたしがあなたのもとから取り去られるのをあなたが見れば、願いはかなえられる。」すると「見よ、火の戦車が火の馬に引かれて現れ、... エリヤは嵐の中を天に上って行った。」 エリシャは叫びました。「わが父よ、わが父よ、イスラエルの戦車よ、その騎兵よ。」 これでエリシャは天の父とその軍勢が味方であることを知りました。「主は生きておられ、エリヤも生きておられる。私も生きるのだ。生きて闘うのだ」と、心が定まりました。

私たちも、恐ろしいことがたくさんあるこの世の中で、霊的闘いがあります。しかし、エリヤの霊二つ分以上の、主イエスの霊が味方なのです。その霊によって、主イエスこそ救い主ですと証言しながら、主の再登場=再臨に備えましょう。